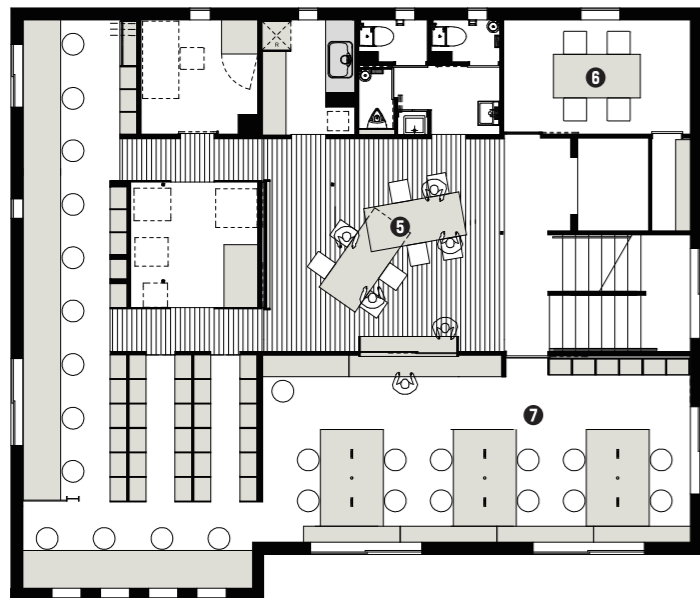


3F ミーティング・スタジオ

⑧土の間（会議室）
相羽建設の土台をつくる大事な部屋。本社事務所では一番広い空間で、毎朝のスタッフの朝礼やさまざまな会議を行う。壁は珪藻土クロス、床は土をイメージしたカーペット仕上げ。

⑨紙の間（旧会長室）
契約書など紙に記しをする場所でもあるので、障子紙や壁紙の仕上げに。時計も紙。床はヒノキ材。大きな枠の障子を通した光や木のぬくもりに包まれる空間。

⑩木の間
Web会議などを行うとともに、オンラインで暮らしやものづくりの魅力を発信することを想定した空間。カラマツの床材+木の家具+壁を板張り+湯布珪藻土の左官仕上げ。

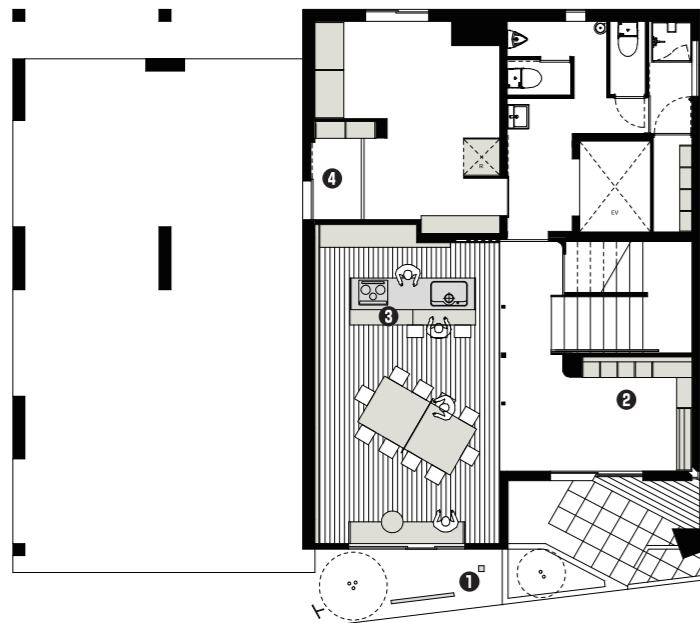


2F ワークスペース

⑤ホール
ワークスペースと給湯室、トイレの間にある場所。軽い打合せや作業、休憩などで使用。壁面ホワイトボードに図を描いて納まりを検討したりディスカッションを行う。登米町森林組合のクリ材を壁と床に板張り。スタッフ同士の交流の場になることを期待している。

⑥合間
来客時にお通しする応接間。打合せで使用。本社をこの建物に移した頃からの神棚が働く人たちを見守る。

⑦オフィススペース
フリーアドレス方式を採用し、ABW（Activity-based working）に基づき様々な場所で仕事を。個人の収納スペースを中央に配置し、その周囲にワークスペースを展開。明るく開けた場所や落ち着いた雰囲気のある場所をその日の仕事にあわせて選ぶことができる。



1F コミュニケーション

①あいばの庭
造園家の小林賢二さんによる小さな庭。道ゆく人や事務所を訪れる人を樹々の緑が和ませてくれる。催しや企画展示を伝える掲示板や、彫刻家の北川陽史さんの手によるミラースタンドも見どころ。

②ギャラリー
エントランスに設けたギャラリー。スタッフが定期的に展示会を企画。建築や暮らし、道具や手仕事にまつわるモノやコト、ヒトの魅力を伝える場所。

③キッチン
スタッフ同士で料理を楽しんだり、地域の人をお招きしてイベントを開催。価値観の近い人との交流が生まれる、地域に開くコミュニティスペース。

④社員用玄関
社員の出入り口。建築資材の荷受けスペースとしても活用。



DATA 相羽建設（株） 本社リノベーション

面積：1階 82㎡（24.75坪）
2階 159㎡（48.00坪）
3階 139㎡（41.96坪）
合計 380㎡（114.71坪）

設計：小泉誠+Koizumi Studio
施工：相羽建設株式会社
竣工：2021.7.17
場所：東京都東村山市本町 2-22-11

構造：鉄骨造